

事業所名

大阪発達総合療育センター あさしお園

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

17日

法人（事業所）理念	私たちは障がいを持つ人々が、地域において安心して生活できるよう支援します。1.保健・医療・福祉の緊密なチーム活動をもって生活支援をおこないます。2.行政機関・医療機関および各種社会資源と連携しその組織化に努めます。3.広く地域社会に法人の活動に対する理解と参加を呼びかけます。4.職員は個々の専門性の向上に努めるとともに、法人運営に積極的に参加します。		
支援方針	保育・医療・リハビリテーションなどの多職種がチームとなって、乳児期から就学を迎えられるまでお子さまの発達支援とご家族の育児支援を行います。そして、子どもたちが地域で豊かに楽しく過ごせるよう地域生活への移行を支援します。		
営業時間	8時	50分から	17時30分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医からの情報収集と家庭生活での様子を聞き取りし健康状態を把握する。 ・身長・体重の定期的測定や、日々の摂食状況の把握により成長発達の支援につなげる。保護者からの相談に応じる。 ・トイレトレーニングや身支度等の自立へ向けての取り組みを行う。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿勢運動の発達状況に応じて遊びの工夫を行う。粗大運動・園外活動・プールでの運動遊びの経験を増やす。 ・感触遊びにより好きな感覚・苦手な感覚を把握し、遊びの中で色々な感覚を養う。 ・見ること触ることがしやすい姿勢や介助方法を工夫し、製作等道具操作に取り組む。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れがわかりやすいように、クラスごとに決まった体操や歌を使って始まりと終わりがわかる流れを作る。 ・活動に集中しやすいように部屋環境を調整する。声掛け、見せ方、介助などの量・タイミングなど関わり方を検討する。 ・絵本や歌等好きな遊びを通して自分で選ぶ、自分で決めることの経験を増やす。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを繰り返し、好きな遊びを見つけ、「もっとしたい」などの表現を引き出す。 ・遊びの成功を支援者と共有し、嬉しい、楽しいなどの気持ちの表出につなげる。 ・発声やサインや表情など色々な方法で発信したことをくみ取り、言葉にして返し、色々な言葉に触れる経験と伝わった成功経験を積む。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達や保育士等と一緒に遊び、家族以外の他者との関わりの経験を積む。 ・簡単なルールのある集団遊びを通して地域移行に向けて順番・待つなどの経験をする。 ・クラスの中で友達を意識するやり取りを行い、年齢に応じてお当番などの役割を経験する。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・月毎にテーマを決めて保護者への育児支援の機会を企画 ・きょうだい・家族に保育活動を知ってもらえるよう行事への参加を促す ・家族からの相談を傾聴し、助言を行う 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・移行先との情報共有、保育・リハビリ見学にも対応 ・保育所等訪問支援の実施 ・卒園生のご家族による就園・就学の経験談
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関との情報共有 ・療育者講習会などの勉強会の開催 ・自立支援協議会児童部会で活動 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職者への研修・OJTによる研修 ・法人内での職員研修 ・外部研修への参加
主な行事等	入園・進級式、参観日（年2回）、スペシャルデー（アート等 年2回）、こどもまつり、プール開放、運動会、クリスマス会、餅つき、生活発表会、5歳児遠足、卒・退園式		